

施策番号	0402		
施策名	すべての市民活動団体の活性化		
概要	NPO，ボランティア団体等，公益活動を担うすべての市民活動団体が活発に取組を展開できるよう，市民活動総合センターを中心に情報収集・提供，相談，育成，交流，連携の促進などの支援を行う。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関する主な分野別計画等	第2期京都市市民参加推進計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	NPO法人設立講座参加人数(人)	b	b	188	168	203	82.8%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					c	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※	
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数		
1	多様なNPO（公益活動を行う市民活動団体の一種）やボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。	b	b	77	261	212	103	32	685	-	
				11.2%	38.1%	30.9%	15.0%	4.7%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
市民生活実感調査総合評価		b	b								-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その活性化状況も実感されることに意義があるため				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、NPO法人設立講座の一部を中止したことが影響し、講座の参加者数が伸び悩んだことから、c評価以下となったと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・市民活動団体が活発に取組を展開することができるよう、市民活動総合センターを中心として、ウィズコロナ社会における市民活動方法を含め情報収集・提供、相談などの取組を継続するとともに、現在行っているNPO法人設立講座やNPO法人認定移行講座についても、オンラインでの実施や講座内容の見直しを行い一層の充実を図る。

・引き続き、地域内のネットワークや、課題把握能力を持つ地域団体と、専門性や機動性を持つNPO法人が互いの強みを生かしながら連携し、地域コミュニティの活性化とNPO法人の活動基盤の強化に取り組む。

施策名	0402	すべての市民活動団体の活性化					
指標名	NPO法人設立講座参加人数(人)						
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 4 0 7 2			
1 指標の説明							
京都市市民活動総合センターが実施する、NPO法人設立講座の参加人数							
2 指標の意味							
市民活動団体が活発に活動するまちづくりに向けて、市民活動への関心の高まりを示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：京都市市民活動総合センター調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度	
数値	188	168	20人減	203	過去最高値（平成17年度）	82.8%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-			-			
5 評価基準							
目標値に対する割合が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満							
6 基準説明							
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定							
7 評価結果							
平成30	令和元	令和2					
b	b	c					